

まちを愛する気持ちが、まちを守り続ける

地域防災の要 消防団

令和6年能登半島地震では、被災者の避難誘導や救助にあたるなど重要な役割を果たし、注目されている消防団。本市にも、本業の仕事を持ちながらも、まちのために活動する消防団員が47人います。今回は、地域防災のリーダーとして「自らの地域は自らが守る」の精神に基づき活動している高石市消防団員に迫ります。

問合先 危機管理課 ☎(275) 6247



高石市消防団 団員

杉本 健次さん (31)

消防団員 2年目

消防団員になる きっかけは家族の存在

高石市に引っ越してきて娘が生まれ、父親としての自覚が芽生えてきた頃、ふと目に飛び込んできたのは広報たかいしに掲載されていた「消防団員募集」の文字でした。記事を読んだ瞬間、生まれてきた娘や、大切な家族が安心して過ごせるまちにしたいという想いが湧き消防団への入団を決めました。



入団のきっかけとなった娘さん



普通救命講習の
訓練風景

消防署と消防団の違い



消防署

機動力&即時対応性
職業として災害活動
や救命救急等を行う
プロフェッショナル



消防団

動員力&地域密着性
本業を持ちながら活
動する地域の消防防
災リーダー

消防団とは

消防団は会社員や自営業者、学生など、普段は別の職業に就いている方々によって組織された非常勤の消防組織です。高石市消防団は3分団で構成され、団長をはじめとして各分団長などの統率のもと、消防団員が一致団結し、来る災害に備えて訓練を行います。

消防団の主な活動

平常時の活動

各種訓練

毎月、災害に備えて放水訓練や救助資機材取扱訓練等を実施しています。

普通救命講習の実施

市民を対象に、応急手当や AED の使い方も含んだ救命措置の指導を行っています。



緊急時の活動

大規模災害時の活動支援

大規模災害時には消防署や自主防災組織などと連携し消火・救助活動を行います。

避難情報等の伝達

消防団車両による避難指示などの避難情報を伝達し、市民の避難誘導等に努めます。



入団後は、毎月の訓練で応急手当の方法やチェーンソーの使い方などが学べ、普段の生活では知り得ない新しい発見があります。加えて自身意識にも変化が起きました。

それは、家族だけでなく近所の人たちも守れる存在になりたいと思うようになったことです。そのためには、近所でお互いが助け合える関係性をつくるのが大切だと思います。今では日頃から近所の方と積極的に挨拶するよう心掛けています。

隣近所の人たちも
守れる存在に

このような意識の変化があったのも、一緒に活動を共にする消防団員の諸先輩方が「自らの地域は自らが守る」ということを熱心に体言し、示し続けてくれるからです。

共に高石市を
守りましょう

高石市消防団は、男女問わず幅広い年代が活躍しています。団員の皆さんは気さくな方ばかりで、楽しく活動に参加しています。家族や地域を守りたいと思っている方は、ぜひ私たちと一緒に活動しましょう。消防団への入団お待ちしております。

一緒にまちを守りましょう！団員募集中！

～ “暮らすまち” から “守るまち” へ ～

高石市消防団では、消防団員を随時募集しています。団員は非常勤特別職の地方公務員として、活動については報酬が支給され、公務災害補償もあります。

入団希望の方は危機管理課 ☎(275)6247 までお問い合わせください。

募集 市内在住または在勤で 18 歳以上の志操堅固かつ身体強健な方



男女問わず、幅広い年代が活躍する
高石市消防団の皆さん



令和6年度 施政方針



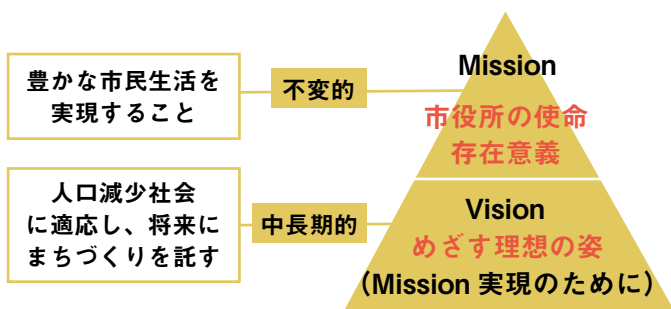
居場所と役割を感じてもらえる高石市の実現に向けて

令和6年第1回高石市議会定例会で畑中市長は「令和6年度 施政方針」を発表しました。「施政方針」とは、これからのまちづくりの基本的な考え方と主な施策を示すものです。今回は令和6年度に力を入れて取り組む施策の内容を一部お知らせします。

※施政方針の全文と市長が要点解説した動画は市ホームページからご覧ください▶



問合せ 企画課 (275) 6034



持続可能な財政を築き、
人口減少問題に立ち向かう

高石市役所の使命 (Mission) は1人でも多くの人に居場所と役割を感じてもらえる「豊かな市民生活を実現すること」です。これを実現するために、必要な中長期的な目標 (Vision) は、「避けられない大きな課題である人口減少問題への歯止め政策と人口減少社会への適応政策を同時展開し、将来の担い手にまちづくりを託せるようにすること」であると考えています。

厳しい財政状況の主な要因

- ・物価高騰、人件費の増加
- ・子育て世帯への投資、福祉費用の増加
- ・公共工事の事業費の増加
- ・公共施設等の老朽化対策事業

そして、厳しい財政状況の中、この政策を進めていくためには、財政基盤を強化するとともに、持続可能な行政運営を行うっていく必要があります。

そこで、①市役所業務の総点検による見直し、②自治体DXによる業務の効率化、③「稼げるまち」としての財源の確保を軸に持続可能な財政状況を築き上げ「豊かな市民生活の実現」をめざします。

明日の担い手を育む



保育士就職支援金

民間の認定こども園が保育士を新規雇用した際の補助を行う

中学校給食の無償化を継続

小学校においては食材の物価高騰分に対して補助を行う

「第5次高石市総合計画」における 5つのまちづくり目標



1. 「明日の担い手を育む」
2. 「みんなで支え合い、健やかに過ごせる」
3. 「安全・安心で快適に暮らせる」
4. 「人を惹きつける魅力と活力があふれる」
5. 「持続可能なよりよい未来へつなぐ」

安全・安心で 快適に過ごせる



避難訓練の改良

子育て世帯なども含めて、体験し、気づき、防災知識が見に付くようにリニューアル

未着手の都市計画道路の見直し

計画の必要性や事業の実現性などの観点から再点検を行う

みんなで支え合い、 健やかに過ごせる



孤立ゼロプロジェクトの発展

介護・障がい分野の福祉事業との連携を強化

ボランティアポイントの新設

担い手確保に向けて、集いの場の運営支援にポイントを付与

人を惹きつける 魅力と活力があふれる



高石シーサイドフェスティバル

官民連携により、地域の魅力をより発揮できるイベントに進化

ふるさと納税の強化

地場産品開発・改良支援事業補助金を創設し、寄附金のさらなる獲得をめざす

持続可能な よりよい未来へつなぐ



地域コミュニティの活性化

市長退職金等を原資として、コミュニティ活動の発展を目的として補助事業を創設

電力の地産地消

泉北クリーンセンターで発電した余剰電力の供給先を増加